

令和 5 年度 アジア連携研究センターSMEs 研究センター活動実績

2023 年 9 月 4 日（月）から 9 月 9 日（土）にかけて、台湾の国立台中科技大学情報管理学系の教授連俊瑋（Jiunn-Woei Lian、Allen）が新潟県燕三条地域を訪問され、フィールドワークと学術交流が行われました。9 月 6 日（水）の午後に新潟大学経済学会研究会において、「レジリエントなサプライチェーンのデジタルボードルールの計画と分析」（Resilient Supply Chain Digital Boardroom Demand Planning and Analysis）をテーマに、台湾の産業サプライチェーンに関するこの 2 年間の調査成果を発表されました。

また、2024 年 2 月 21 日（水）には、台湾の彰化師範大学、台中科技大学、東呉大学の 3 大学から 5 名の教員が来訪されました。3 大学の教員らは、新



潟大学の坪井副学長および経済科学部の溝口学部長を表敬訪問しました。同日午後 1 時に、新潟大学で「地域中小企業におけるアントレプレナーシップ」をテーマとした日台シンポジウムが開催されました。本シンポジウムは、新潟大学アジア連携研究センター附置中小企業ナレッジネットワークセンターの主催、新潟大学経済学会の共催で行われ、日本と台湾の学者と学生が参加しました。シンポジウムはハイブリッド形式で行われ、会場参加者とオンライン参加者の双方に向けて実施されました。

日本と台湾の学者による地域中小企業の持続可能な発展についての知見を共有したほか、全体討論では、地域中小企業のアントレプレナーシップ



に関するさまざまな視点からの意見交換が行われ、今後の研究や実務への示唆が得られました。このシンポジウムは、日台間の学術交流を深め、地域中小企業の持続可能な発展に寄与するための貴重な機会となりました。今後も継続的な交流と研究が期待されます。

令和 5 年度の研究論文が 2024 年 6 月に出版されました。本プロジェクトの成果が掲載されています。



文責：張 文婷